



2021年3月期第2四半期決算説明資料

2020年11月

株式会社NexTone

東証マザーズ コード：7094

I	2021/3期2Q決算概要	4
II	2021/3期通期決算見通し	19
III	トピックス	25
	APPENDIX	28

■ 現在、顕在化している影響

- (+) ホームエンタテインメントの広がりにより、音楽・動画配信ニーズの拡大は継続
- (+) ライブ配信等新たなエンタテインメントサービスサポートを開始
- (-) イベント関係は徐々に再開しつつもマーケットは縮小



2021/3期 2Q決算ではトータルの業績面ではプラス

■ 今後、予想される影響

- (+) 音楽・動画配信等のホームエンタテインメントのニーズの追い風は継続
- (-) 店舗営業自粛や広告出稿減少の影響がより顕在化
- (-) イベント関係の先行きは不透明



今期中は影響が続くと仮定
2021/3期見通しでは影響は (+-) ほぼ相殺と想定

2021/3期2Q決算概要

2021/3期2Q累計決算概要

- ✓ 売上高は前年同期比29%増、営業利益・経常利益は同6割超の増益。好調の主因は管理楽曲・取扱原盤の利用拡大・促進を背景とした著作権等管理事業の拡大。管理楽曲数・取扱原盤数は前期末比二桁増加。
- ✓ 通期見通しに対しては、売上面では想定通り。利益面では原盤利用促進の拡大などによる採算改善が寄与し、軒並み50%超の進捗ピッチ。

(百万円)	2020/3期		2021/3期	前年同期比		2021/3期 見通し	進捗率
	上期	下期	上期実績	増減額	増減率		
売上高	2,048	2,297	2,644	+596	+29.1%	5,600	47.2%
著作権等管理	1,710	2,072	2,531	+821	+48.0%	4,900	51.7%
キャストイング	279	180	67	▲212	▲76.0%	600	11.2%
その他	58	45	45	▲13	▲22.4%	60	75.0%
営業利益	131	174	217	+86	+65.7%	380	57.1%
著作権等管理	330	358	469	+139	+42.1%	670	70.0%
キャストイング	26	10	3	▲23	▲88.5%	10	30.0%
その他	11	6	22	+11	+100.0%	30	73.3%
経常利益	132	163	217	+85	+64.4%	380	57.1%
親会社株主帰属 当期純利益	96	95	148	+52	+54.2%	220	67.3%
営業利益率	6.4%	7.6%	8.2%	+1.8p	-	6.8%	-
管理楽曲数*		167,538	193,470	前期末比 +25,932	前期末比 +15.5%	215,000	54.6%
取扱原盤数*		626,459	701,823	前期末比 +75,364	前期末比 +12.0%		

* 翌期初時点

(注) 当社は2020年3月30日に上場したため、2020/3期上期、下期は参考情報

四半期毎業績推移

- ✓ 2Qのみを見ても前年同期比で増収増益。コロナ禍の影響があるも、売上高は四半期ベースの過去最高を更新。
- ✓ なお、著作権使用料は楽曲等の利用と売上計上時期にタイムラグがあるため、新型コロナの影響は必ずしも2021/3期1Qに集中せず、2Q（7月～9月）から3Q（10月～12月）以降にも反映される構造。

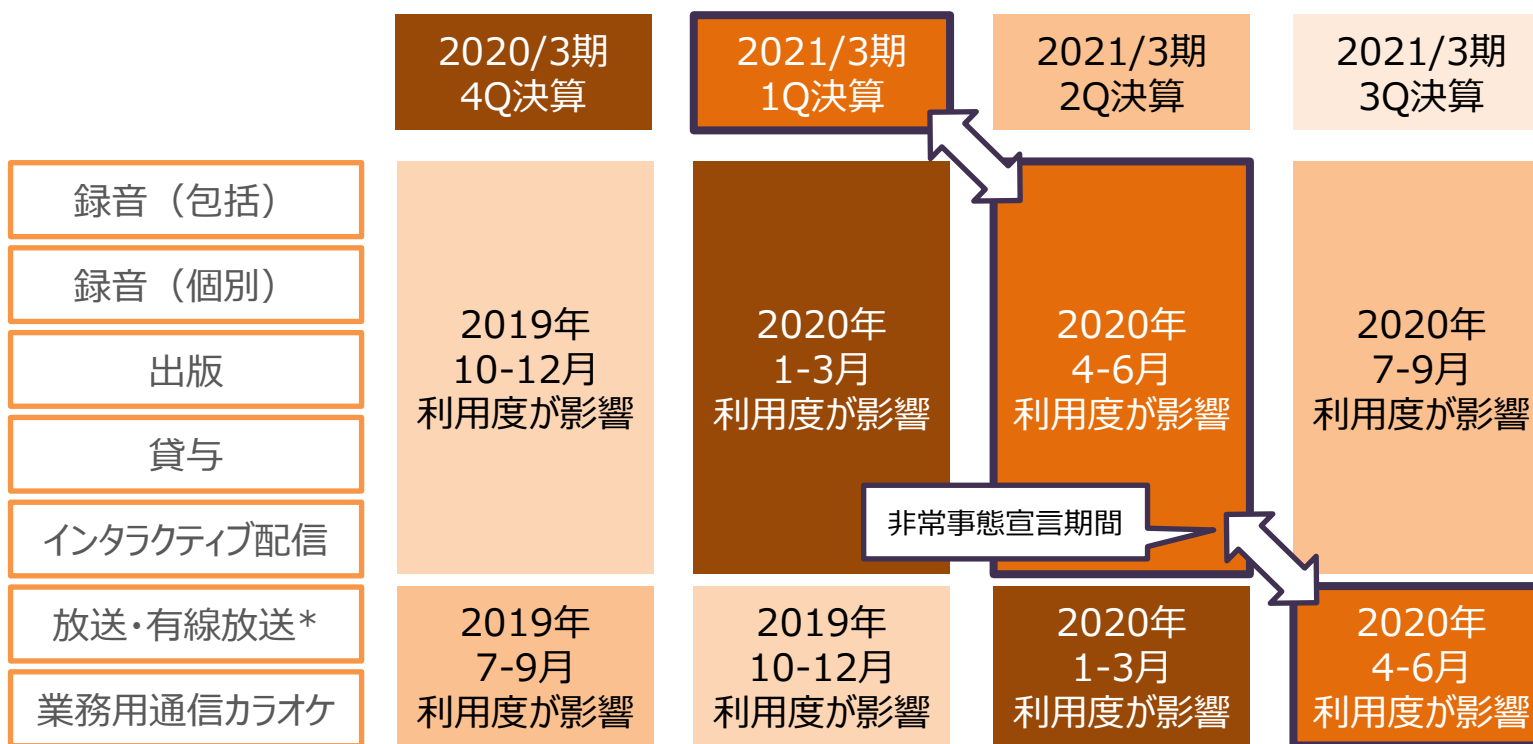
(百万円)	2020/3期		2021/3期	
	1Q	2Q	1Q	2Q
売上高	855	1,193	1,294	1,350
著作権等管理	787	923	1,268	1,263
キャストイング	34	245	3	64
その他	32	26	22	23
営業利益	59	72	121	96
著作権等管理	153	177	271	198
キャストイング	5	21	▲7	10
その他	4	7	10	12
経常利益	60	72	121	96
親会社株主帰属当期純利益	46	50	82	66
営業利益率	7.0%	6.0%	9.4%	7.1%
管理楽曲数*			179,741	193,470
取扱原盤数*			656,923	701,823

* 翌期初時点

(注) 当社は2020年3月30日に上場したため、2020/3期四半期毎数値は参考情報

著作権管理業務：利用と売上計上のタイムラグ

- ✓ 著作権使用料については、利用と徴収・入金・分配時期にズレがあるため、利用時期とその売上計上時期にはタイムラグが存在。概ね利用から売上には1～2四半期を要する。
- ✓ 直近のコロナ禍による非常事態宣言期間の利用は、概ね2021/3期の2Q～3Q決算に反映される見通し。したがって、この間の影響はまだ決算にすべて反映されていない。

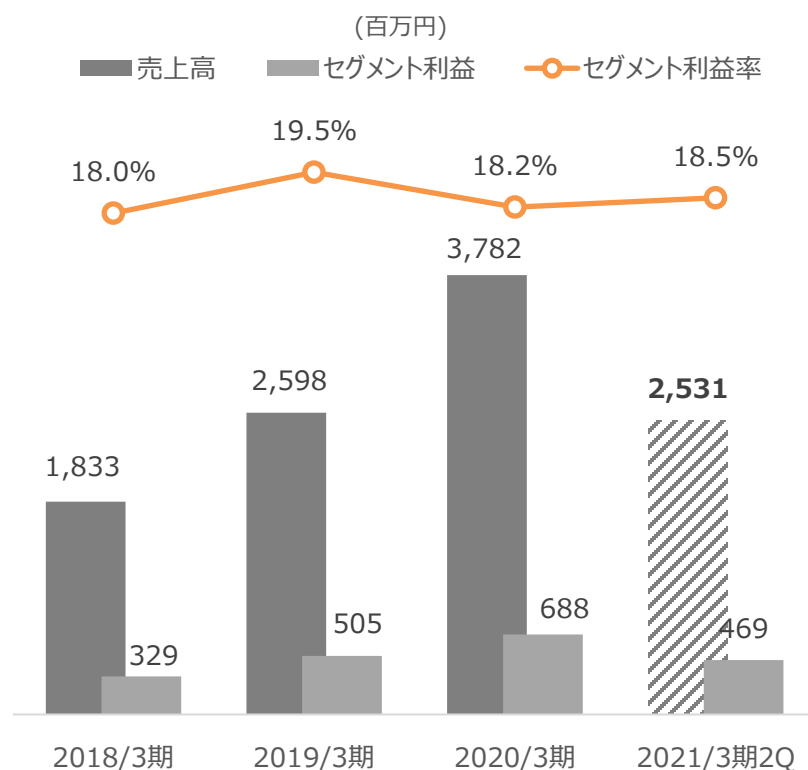


*地上波のケース

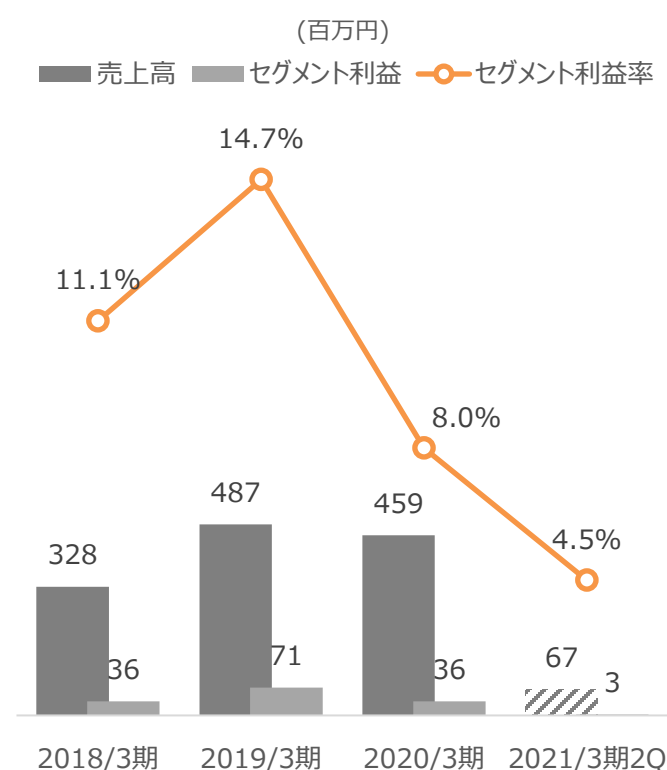
セグメント別業績

- ✓ 主力の著作権等管理事業は好調に推移。コロナ禍によるCD/映像ソフト販売延期の影響はあったものの、配信サービスが伸長。管理楽曲・取扱原盤の獲得も進展し、通期増収増益ペースで推移。
- ✓ キャスティング事業は、コロナ禍による映画館やイベント案件の消失から大幅に需要が減少。徐々に再開は進み、無観客ライブなどの映像配信等をサポートするものの、需要後退の影響は吸収できず、大幅減収減益。

著作権等管理事業

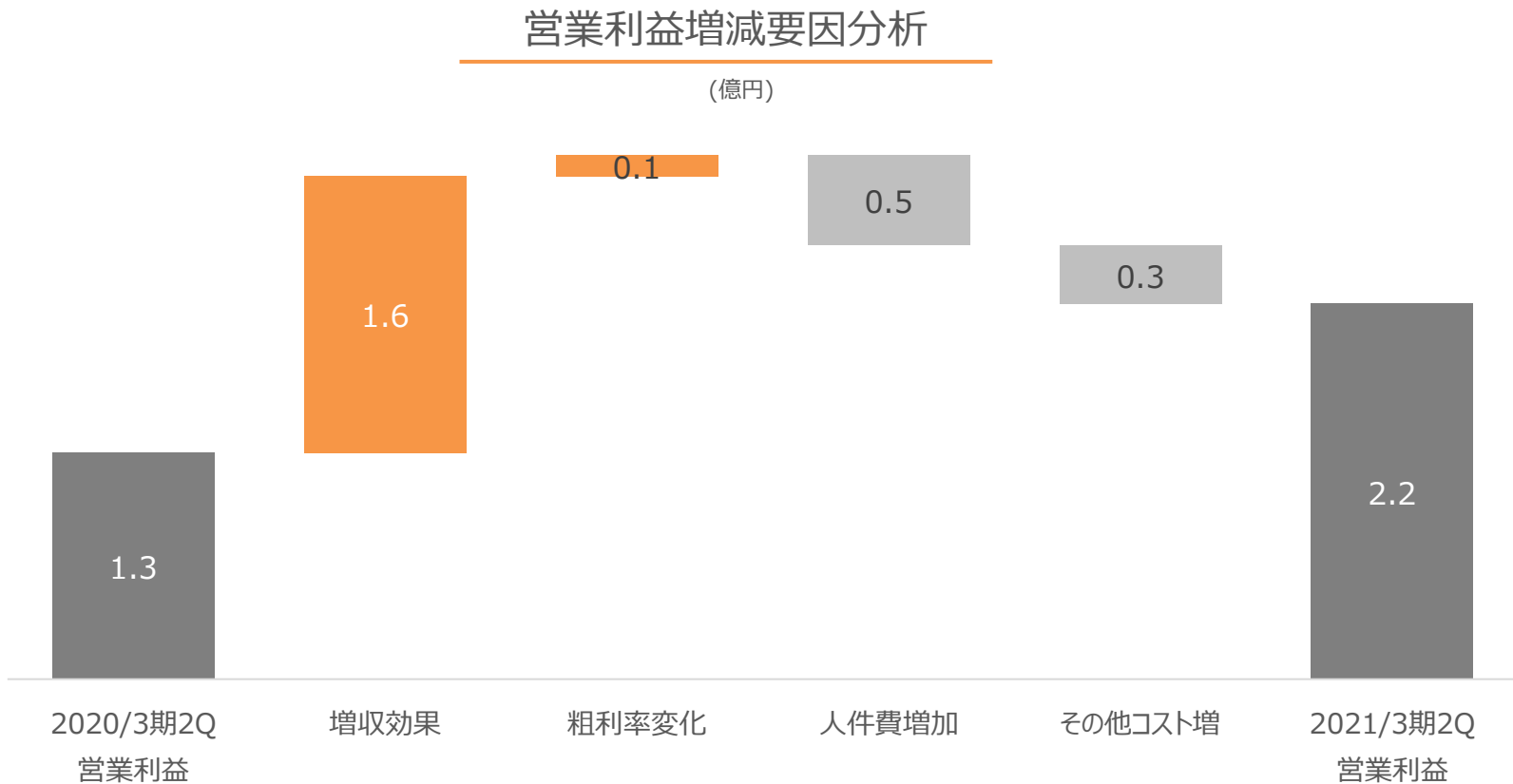


キャスティング事業



営業利益増減要因分析

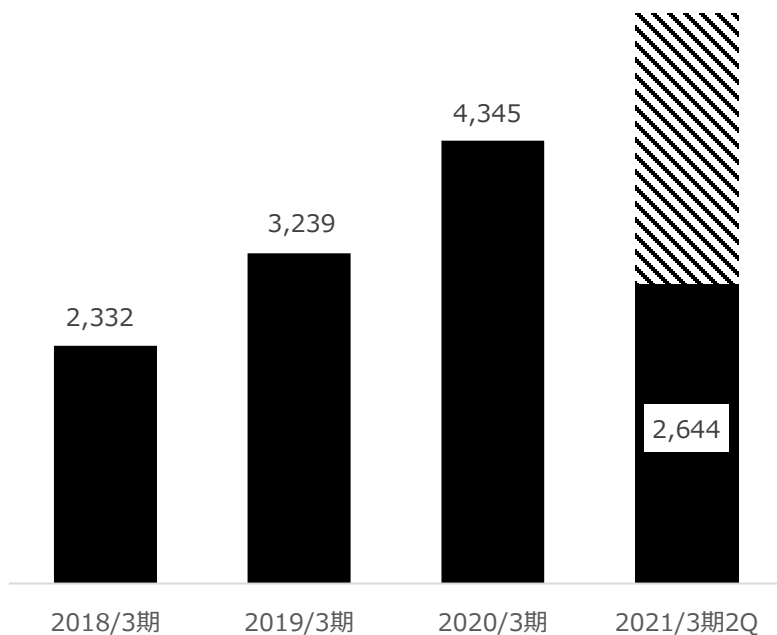
- ✓ 増益の主因は著作権等管理事業の売上拡大による増収効果。配信市場の伸長などから売上構成も改善し、売上要因によっておよそ1.7億円の増益要因が発生。
- ✓ 一方、コスト面では業容拡大に伴って人件費やその他管理費用が増加。これらコスト上昇を売上増による増益寄与で吸収し、営業利益は前年比で66%の大幅増加を達成。



- ✓ 2021/3期通期見通しに対する進捗率は2Q時点まででおよそ順調に推移。NexTone発足以降、4期連続の増収増益。
- ✓ 特に経常利益は過去最高の連続更新を見込み、経常利益率も2ケタ台乗せが視野に。

売上高

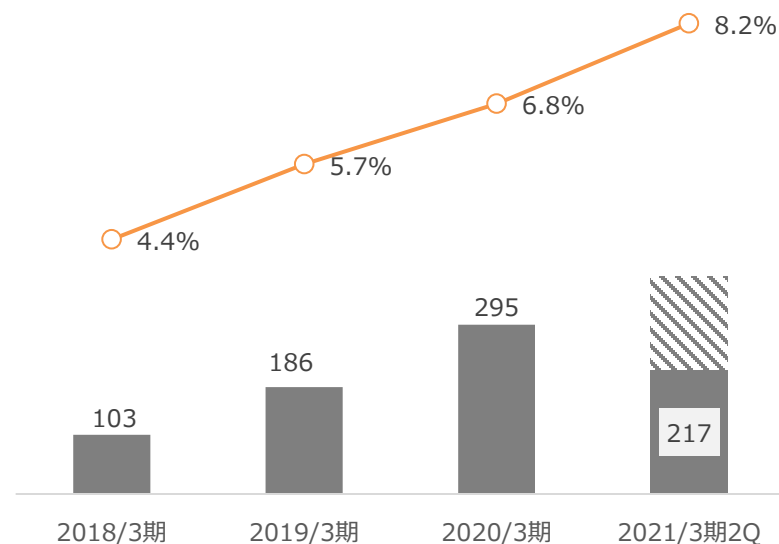
(百万円)



経常利益、同利益率

(百万円)

■ 経常利益 ○ 経常利益率



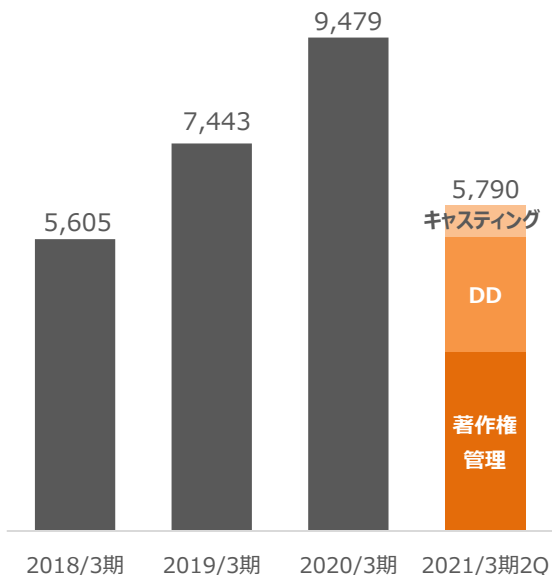
- ✓ 取扱高（総入金額）は2Q時点で前年の60%水準に到達。年率では前年比20%超の拡大ペースで推移。
- ✓ 管理楽曲数、取扱原盤数も2Q時点で前年比2桁を超える拡大。話題となった楽曲も着実に取り込み。
- ✓ 新規楽曲数、取扱原盤数も前年を上回るペースで拡大。

取扱高

(百万円)

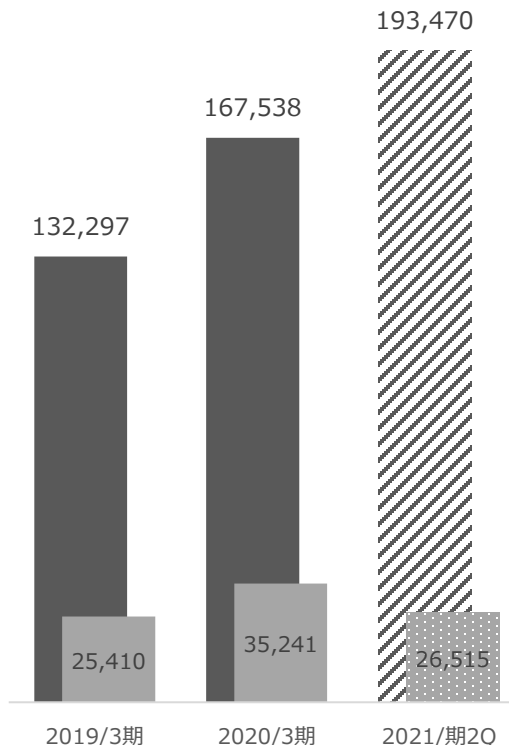
DD*/キャストイング：取扱高 = 売上高
*デジタルコンテンツディストリビューション

著作権管理：取扱高 = 徴収額
(売上には当社手数料分のみを計上)



著作権管理楽曲数

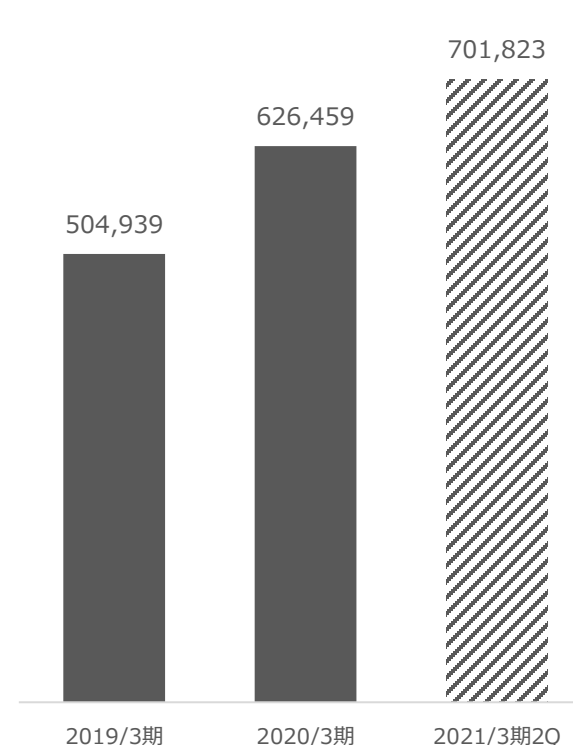
■ 管理楽曲数(曲) ■ 期中新規楽曲数(曲)



* 翌期初時点

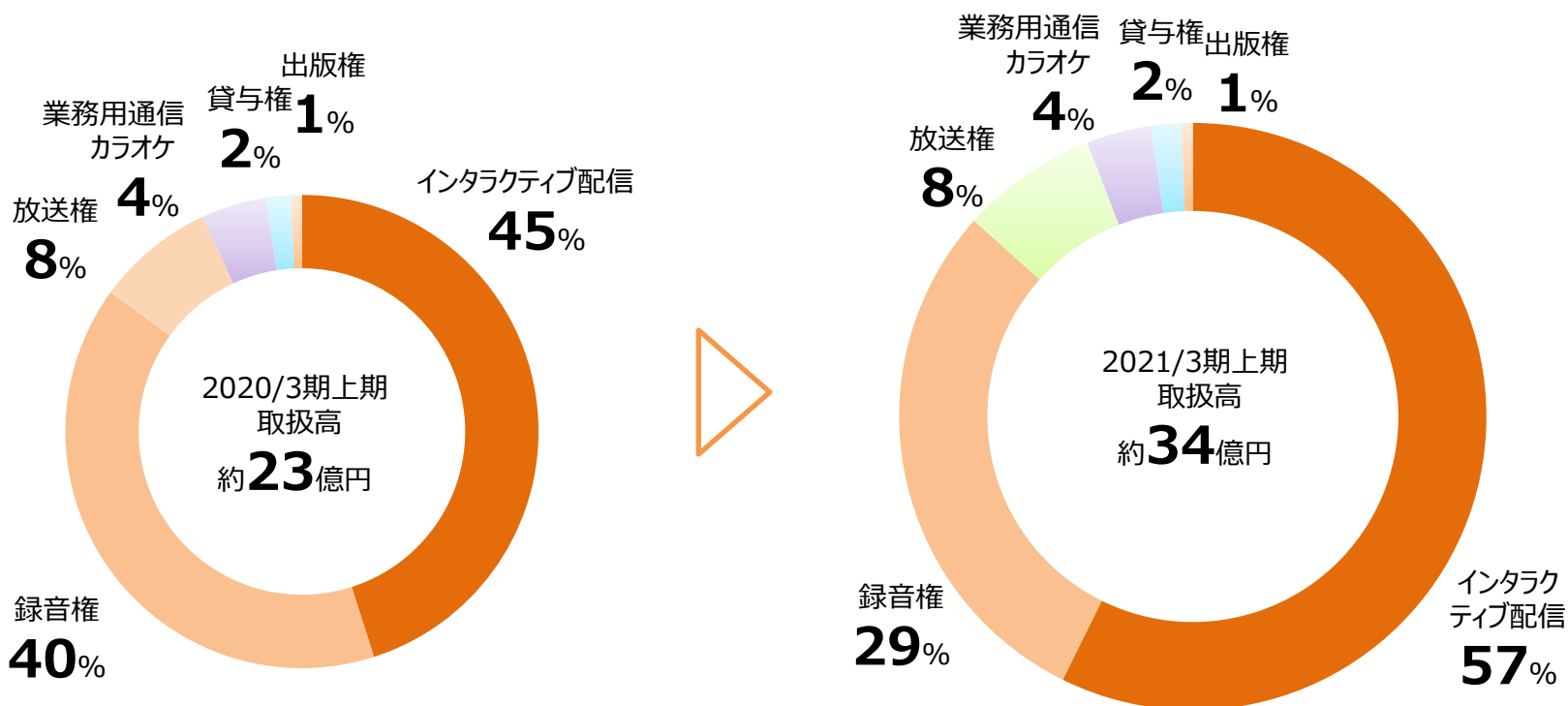
取扱原盤数

(原盤)



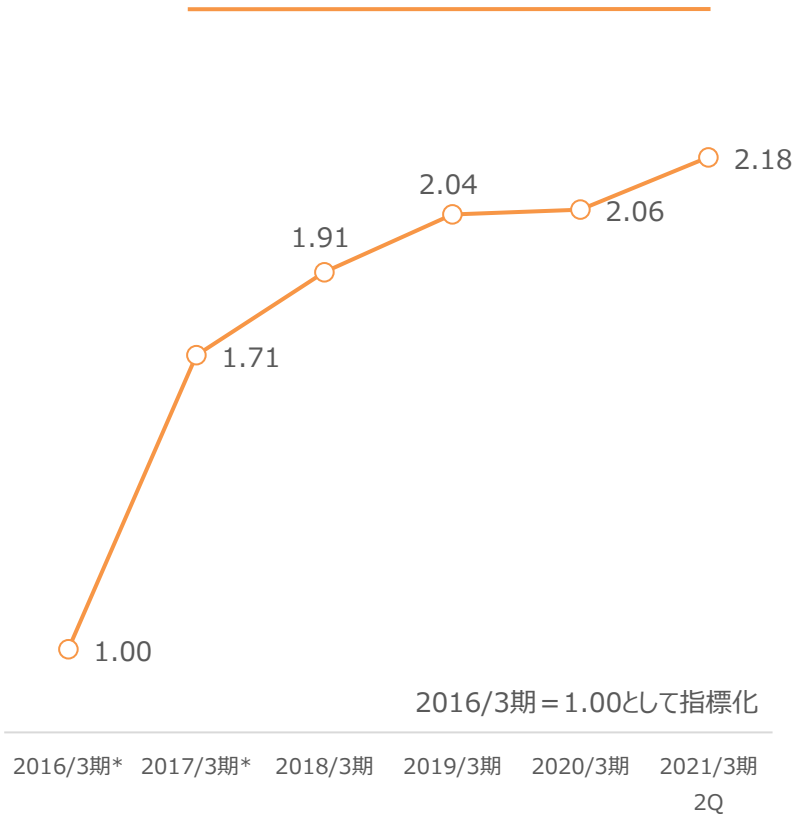
著作権管理業務：取扱高内訳推移

- ✓ 2021/3期上期の取扱高（総入金額）では、インタラクティブ配信が過半を占めるまでに成長。次いで、録音権、放送権となる。カラオケは当社においては大きなポジションにはない。
- ✓ 前年同期比では、取扱高全体が約48%の急拡大となった中、やはりインタラクティブ配信が大きく伸長。録音権は全体に占める割合は30%未満に低下したものの、取扱高は増加。

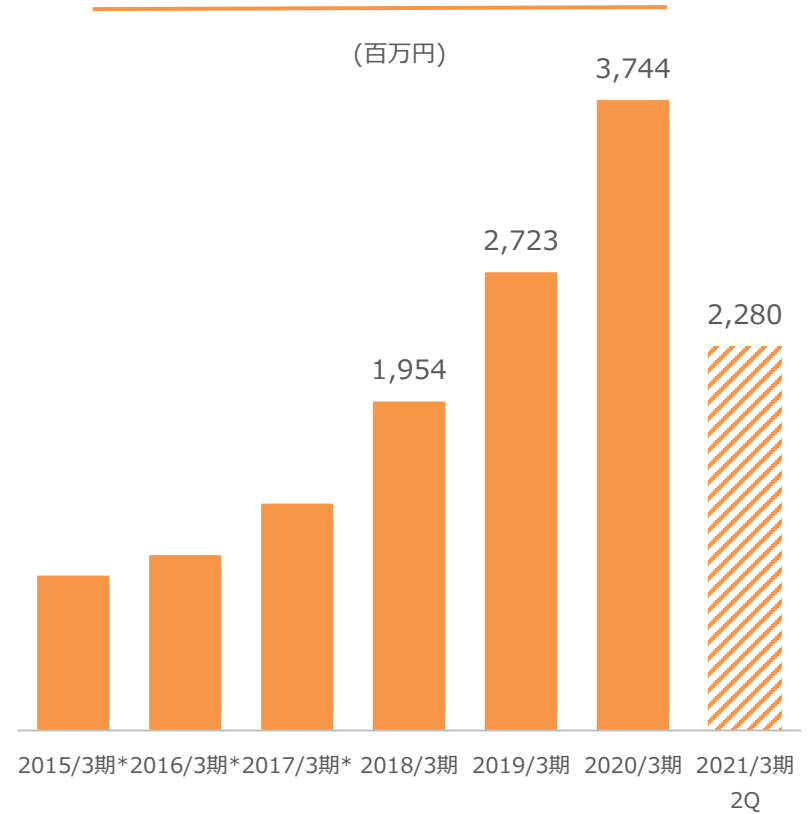


- ✓ 楽曲当たり徴収額は引き続き上昇。管理楽曲数は増加しつつ、ヒット曲や話題曲の取り込み奏功や積極的なプロモーションなどが徴収単価を引き上げ。
- ✓ 利用促進関連売上高は2Q累計で23億円。DD好調を牽引役に、2Q時点で前年水準の60%超に到達。

楽曲当たり徴収額推移



利用促進関連売上高推移



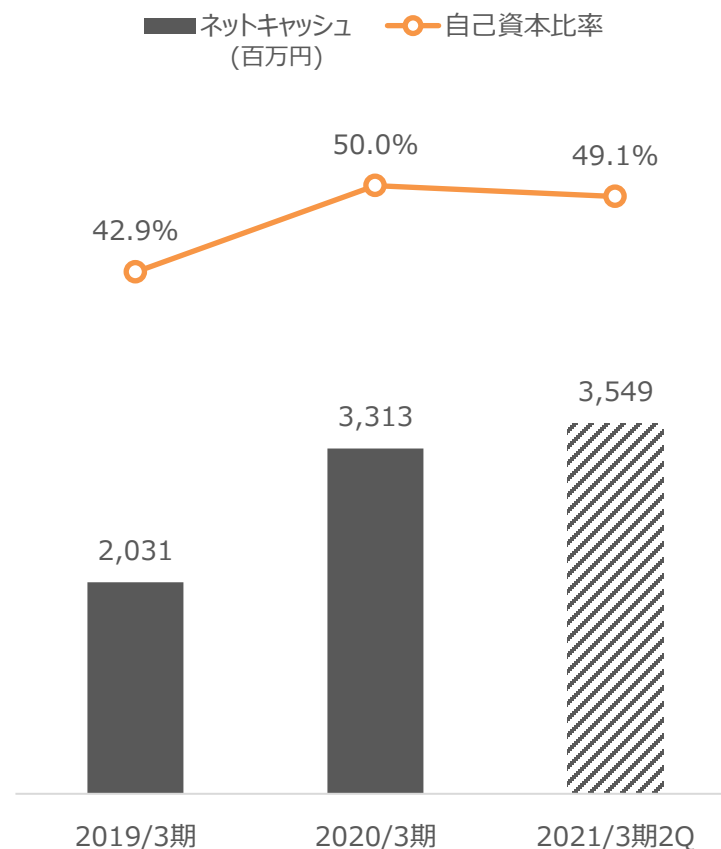
* 単体決算

バランスシート状況

- ✓ 無借金経営を継続。本業好調からキャッシュはさらに積み上がり35億円超に。総資産に占める割合は8割弱。
- ✓ 負債勘定では、著作権分配に対する未払金が増加。ただし、手元現金はそれ以上あり、資金繰りに不安はない。2021/3期2Q末の自己資本比率は49.1%。

(百万円)	2019/3期	2020/3期	2021/3期 2Q	前期比増減
流動資産	2,594	3,630	3,954	+323
現預金	2,031	3,313	3,549	+236
売掛債権	441	175	223	+47
前渡金	104	82	55	▲ 26
未収消費税		48	108	+59
固定資産	541	615	676	+60
無形固定資産	432	476	526	+50
総資産	3,135	4,246	4,630	+383
負債	1,792	2,126	2,361	+235
買入債務	565	505	569	+63
有利子負債	0	0	0	±0
未払金	810	1,112	1,390	+278
前受金	142	99	56	▲ 42
純資産	1,343	2,120	2,268	+148
負債純資産合計	3,135	4,246	4,630	+383

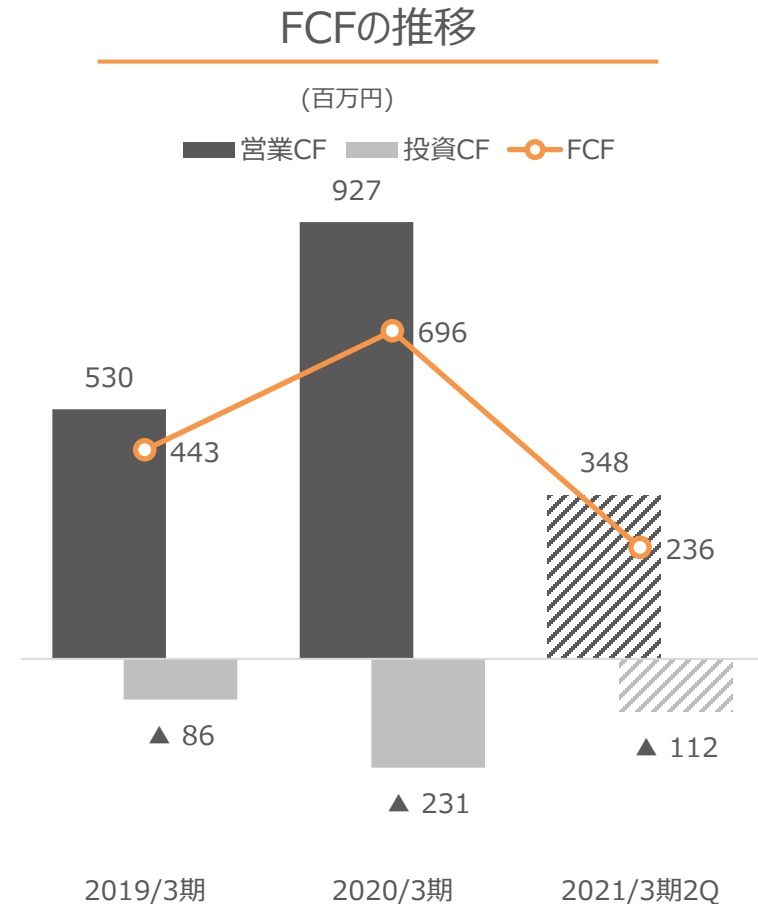
財務状況の推移



- ✓ 競争力の源泉となるシステム開発を中心に設備投資を積極的に計上。
- ✓ 一方、管理楽曲数・取扱原盤数の増加などにより営業CFも順調に計上し、FCFは黒字継続。

(百万円)	2019/3期	2020/3期	2021/3期 2Q
営業CF	530	927	348
投資CF	▲ 86	▲ 231	▲ 112
固定資産取得	▲ 89	▲ 121	▲ 112
FCF	443	695	236
財務CF	▲ 15	586	0
借入金の返済	▲ 15	0	0
株式発行収入	0	586	0

* FCF=営業CF+投資CF で算出



著作権管理業務：上半期の主な徴収額上位楽曲 (五十音順)



「愛にできることはまだあるかい」
RADWIMPS

大ヒット映画「天気の子」主題歌



「115万キロのフィルム」
Official髭男dism
©Lastrum Music Entertainment Inc.

映画主題歌となったヒット曲



「まちがいがし」
菅田将暉
素材提供：ソニー・ミュージックレーベルズ

米津玄師作詞・作曲・
プロデュースのヒット曲



「マリゴールド」
あいみょん
©Warner Music Japan Inc.

2018年を代表するヒット曲



「優しいあの子」
スピッツ
©UNIVERSAL J / UNIVERSAL MUSIC LLC.

連続テレビ小説「なつぞら」主題歌



Official髭男dism

「115万キロのフィルム」

©Lastrum Music Entertainment Inc.

映画主題歌となったヒット曲



菅野祐悟

「il vento d'oro」

©LUCKY LAND COMMUNICATIONS/集英社・
ジョジョの奇妙な冒険GW製作委員会

海外配信実績が好調
「ジョジョの奇妙な冒険」

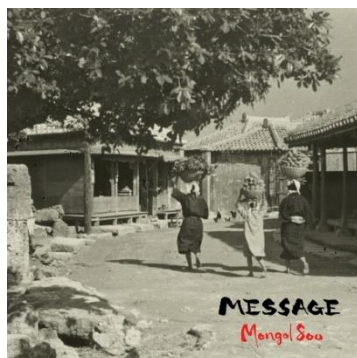


Poppin'Party

「Breakthrough!」

©BDP ©CraftEgg ©BUSHI

バンドリ！の人気バンド



MONGOL800

「小さな恋のうた」

©High Wave

永遠の名曲



ヨルシカ

「ただ君に晴れ」

©2018 DWANGO Co.,Ltd.

MV再生1億回超えの人気曲



√AtoZ/羽風 薫 (CV.細貝 圭)、守沢千秋
(CV.帆世雄一)、椎名ニキ (CV.山口智広)、
逆先夏目 (CV.野島健児)、天満 光 (CV.池田純矢)
「デートプランA to Z」

©2014-2019 Happy Elements K.K

大人気ヒットコンテンツ
「あんさんぶるスターズ！！」

【ライブビューイング サポート】



WANIMA
COMINATCHA!! TOUR FINAL LIVE VIEWING
2020年9月22日
無観客ライブを全国286の映画館に同時生中継

【ライブ配信 サポート】

コロナ禍での新しいホームエンタテインメントサービスを展開



HY
HY HOME LIVE Vol.4 —HYの日・20周年誕生祭—
2020年9月22日
結成20周年の記念ライブを生配信



Grand VIEWTY 2020 Drive in Concert
2020年8月21日～23日
車で音楽ライブを楽しむ野外イベントの様様を独占配信

2021/3期決算見通し

- ✓ 2021/3期通期の見通しは、新型コロナの影響を見据え従来想定を据置き。コロナ禍の影響は2021/3期を通じて継続すると想定するものの、巣ごもり需要を牽引役に増収増益との見通しを堅持。
- ✓ 業績面では、管理楽曲数の28%増を前提に、29%増収、25%営業増益を想定。上期はコロナ禍により不振を余儀なくされたキャストینگ事業も、映像配信など多様な案件獲得などにより、増収確保を見込む。
- ✓ ただし、業容拡大による人件費増、システム費用増に加え、一部サービスで構成変化による採算悪化リスクを想定。結果的に営業利益率は横ばい圏にとどまるも、あくまで次なる改善に向けての踊り場との位置づけ。

(百万円)	2019/3期	2020/3期	2021/3期 見通し	前期比	
				増減額	増減率
売上高	3,239	4,345	5,600	+1,255	+28.9%
著作権等管理	2,598	3,782	4,900	+1,118	+29.6%
キャストینگ	487	459	600	+141	+30.7%
その他	153	103	60	▲43	▲41.8%
営業利益	182	305	380	+75	+24.6%
著作権等管理	505	688	670	▲18	▲2.6%
キャストینگ	71	36	10	▲26	▲72.2%
その他	41	17	30	+13	+76.5%
経常利益	186	295	380	+85	+28.8%
親会社株主帰属当期純利益	129	191	220	+29	+15.2%
営業利益率	5.6%	7.0%	6.8%	▲0.2p	—
管理楽曲数*	132,297	167,538	215,000	+47,462	+28.3%
取扱原盤数*	504,939	626,459	—	—	—

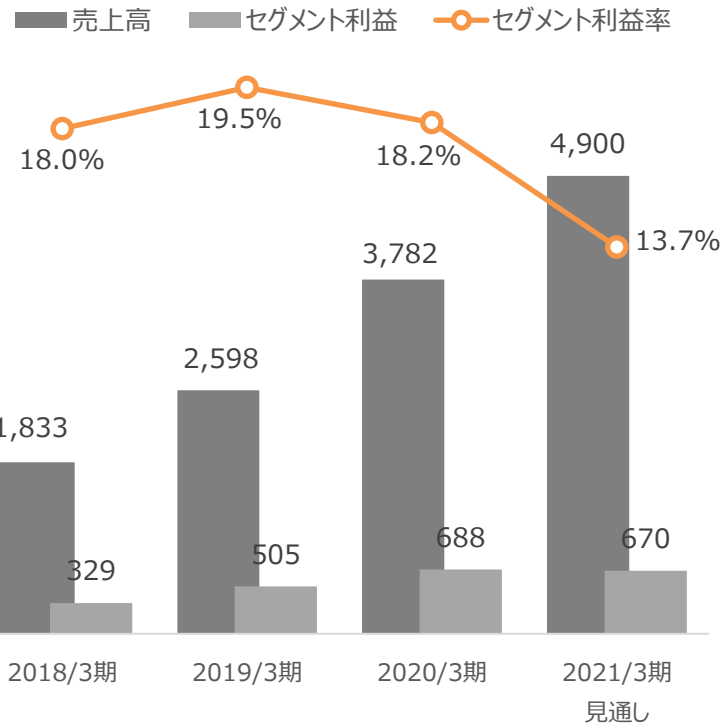
* 翌期初時点

セグメント別想定

- ✓ 著作権等管理事業では、管理楽曲数増加に伴い売上高も増加の見通し。ただし、利益率の低下や人件費・システムコストの増加などを保守的に想定。営業利益は横ばい圏に留まると予想。
- ✓ キャスティング事業では、イベント中止などをある程度織り込み、WEB等での代替利用を促進。売上はそれら代替利用を軸に増収を目指すも、サービス構成変化や人件費増を慎重に想定し、利益率は低下を見込む。

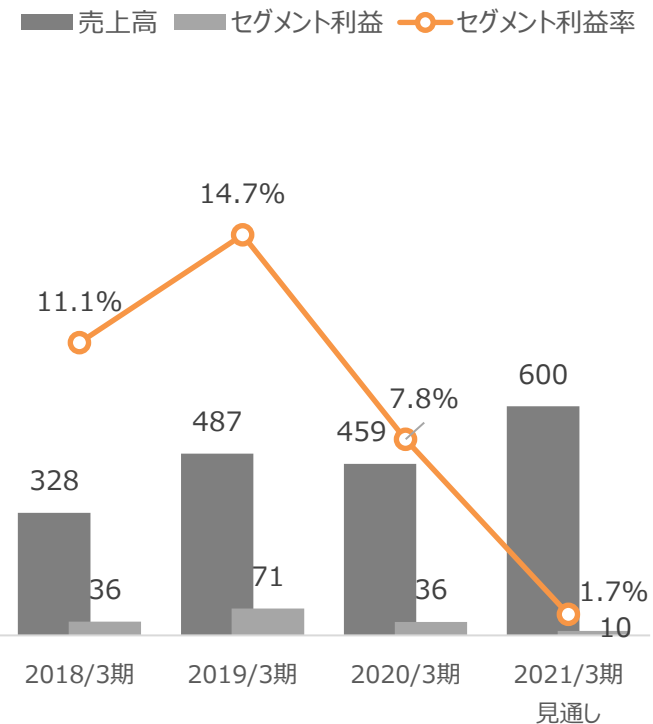
著作権等管理事業

(百万円)



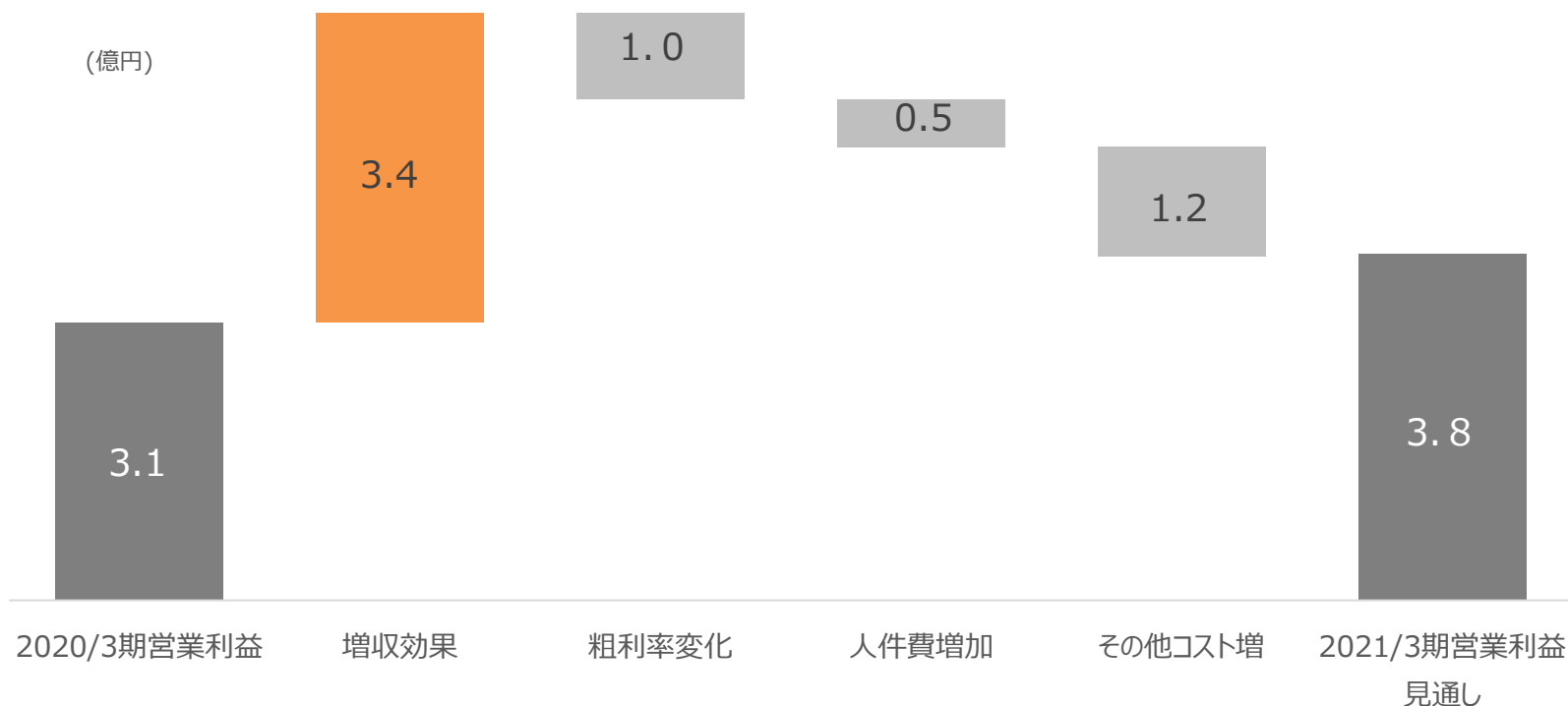
キャスティング事業

(百万円)



- ✓ 増益見通しの牽引役は引き続き著作権等管理事業の売上拡大。売上構成の変化による粗利益率の一定の低下はリスクとして織り込み、売上要因によっては前期を上回る2.4億円程度の増益寄与を見込む。
- ✓ 一方、コスト面では人件費増が継続するうえ、システム関連の償却負担増、家賃負担増などが発生。売上要因による増益寄与はこれらコスト上昇で減殺され、営業利益は25%増を予想する。

営業利益 想定増減要因分析



2021/3期決算見通し（半期ベース）

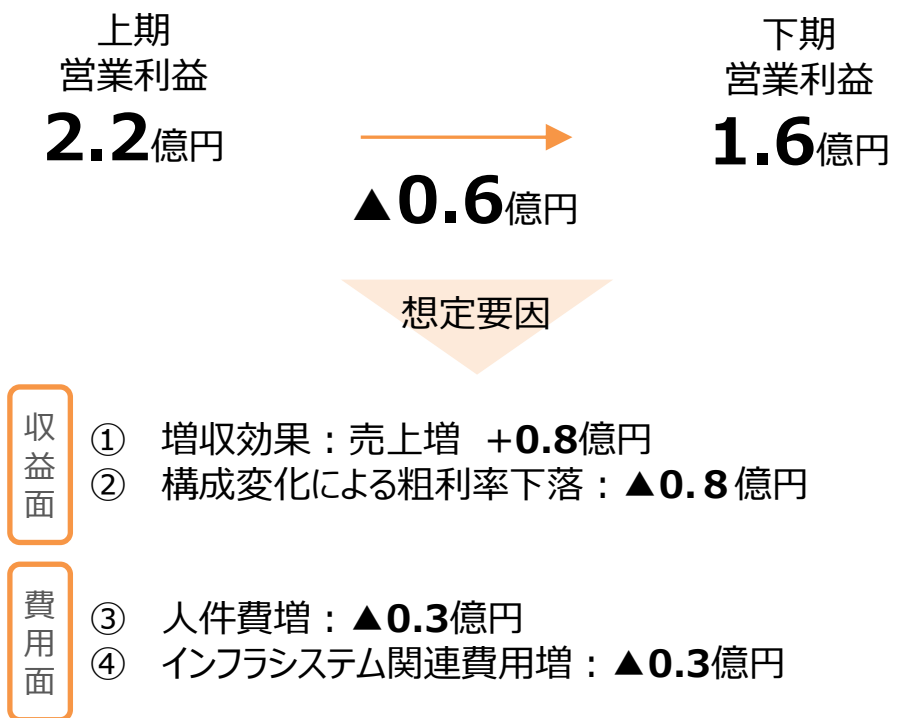
- ✓ 2021/3期下期は、前年比、前期比ともに増収の見通し。ただし、営業利益ベースではいずれも減益を想定。
- ✓ 増収減益となるのは、業容拡大による人件費増、システム費用増といったコスト面での負担増を見込むため。利益面での成長は一旦鈍化となるも、管理・インフラ機能の充実は軽視すべきでないとの経営判断。
- ✓ 著作権等管理事業で上期比減収を見込むのは、遅れてコロナ禍の影響が顕在化することに加え、依然として不透明な景気動向などを保守的に想定したため。

(百万円)	2020/3期		2021/3期		下期の前年同期比	
	上期	下期	上期	下期見通し	増減額	増減率
売上高	2,048	2,297	2,644	2,956	+659	+28.7%
著作権等管理	1,710	2,072	2,531	2,369	+297	+14.3%
キャストینگ	279	180	67	533	+353	+196.1%
その他	58	45	45	15	▲30	▲66.7%
営業利益	131	174	217	163	▲11	▲6.3%
著作権等管理	330	358	469	201	▲157	▲43.9%
キャストینگ	26	10	3	7	▲3	▲30.0%
その他	11	6	22	8	+2	+33.3%
経常利益	132	163	217	163	±0	±0%
親会社株主帰属 当期純利益	96	95	148	72	▲23	▲24.2%
営業利益率	6.4%	7.6%	8.2%	5.5%	▲2.1p	—
管理楽曲数*		167,538	193,470	215,000	+47,462	+28.3%
取扱原盤数*		626,459	701,823	—	—	—

* 翌期初時点

(注) 当社は2020年3月30日に上場したため、2020/3期上期、下期は参考情報

- ✓ 直前上期比較では、営業利益は0.6億円の減少を想定。管理楽曲数の約1割増を前提に増収を見込むものの、それ以上のコスト上昇などが収益圧迫要因になる見通し。
- ✓ 具体的には、サービス構成の変化による粗利益率悪化、システム費やその他管理費用の増加などが影響。いずれも景気動向の先行不透明感を懸念し、保守的に予想。



トピックス

海外徴収

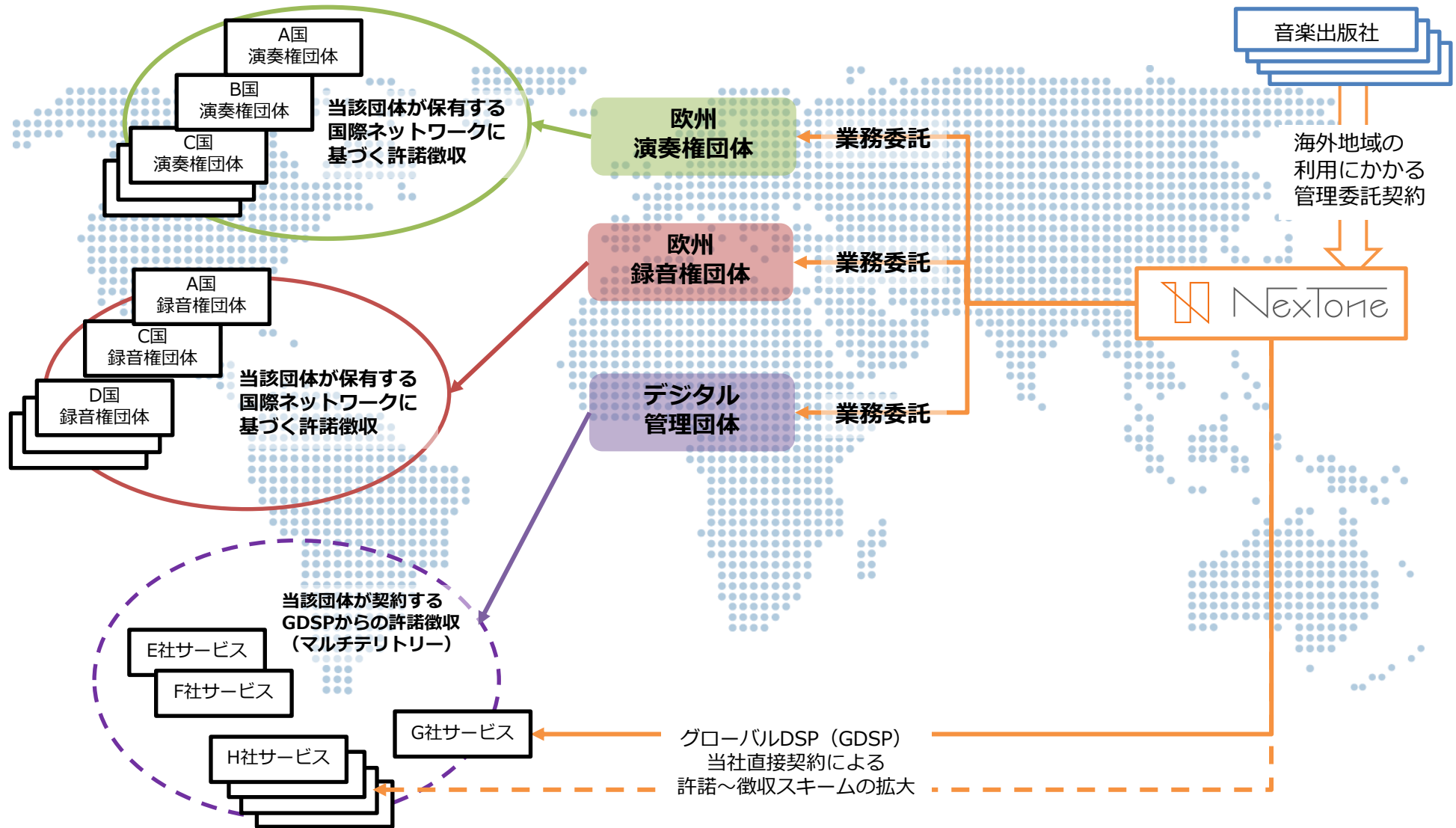
- ✓ 欧州著作権管理事業者（録音権、演奏権）への業務委託にかかる契約交渉中
- ✓ 上記に並行し、グローバルデジタルサービスプロバイダ（GDSP）との当社直接許諾徴収契約締結に向けた交渉を継続
 - ※海外徴収の想定スキーム（概念）については次頁参照

演奏権参入

- ✓ 緊急事態宣言解除後、関係者（JASRAC、カラオケ事業者ら）との交渉は徐々に再開となるも、2Q時点で目立った進捗なし
- ✓ 3Q以降、政府提唱の既得権益打破、規制改革推進並びにデジタル化推進の方針に則り、政府機関や音楽業界団体との連携を模索

ホームエンタテインメントへの配信

- ✓ ホームエンタテインメント需要は継続的に拡大。ライブビューイングが映画館等から家庭向けへの配信にシフト、またはアドオンする傾向が鮮明に
- ✓ 演奏権未参入のため、映画館等への上映配信では著作権使用料を取り込めないが、家庭向け配信では著作権管理とキャスティング事業との相乗効果に期待



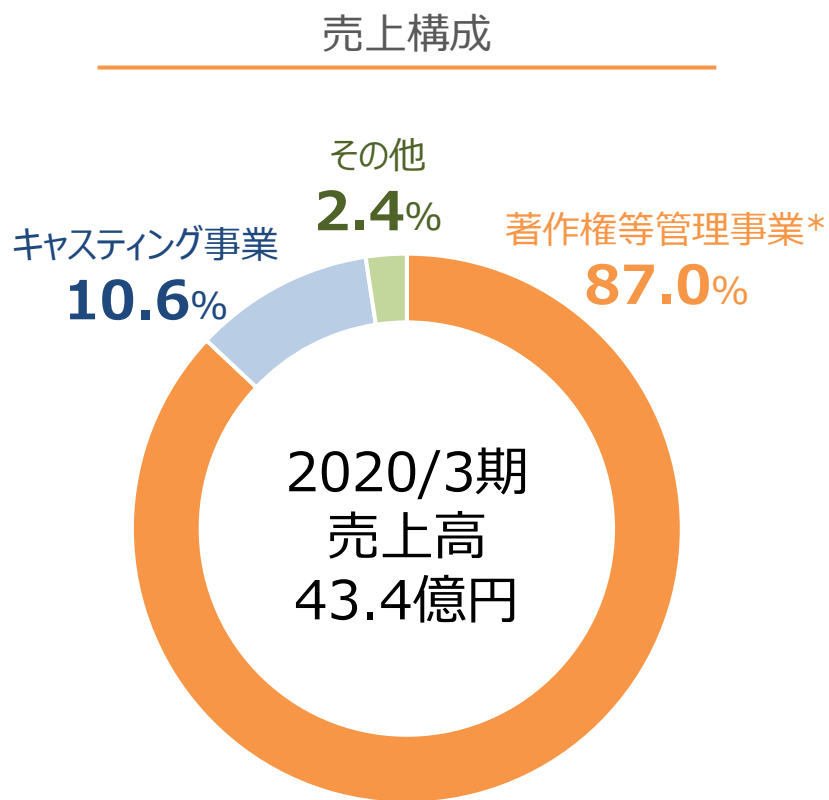
APPENDIX 会社概要

社名	株式会社NexTone [英語名：NexTone Inc.]			
代表者	代表取締役CEO 阿南 雅浩			
設立年月	2000年9月（2016年2月、イーライセンスとJRCが合併してNexToneに商号変更）			
本社所在地	東京都渋谷区広尾 1-1-39 恵比寿プライムスクエアタワー20F			
資本金	1,113,012千円（2020年9月末）			
役員構成	代表取締役CEO	阿南 雅浩	常勤監査役	佐藤 俊樹
	代表取締役COO	荒川 祐二	社外監査役	小林 伸之
	専務取締役	名越 禎二	社外監査役	大嶋 敏史
	社外取締役	高橋 信彦		
	社外取締役	升本 喜郎		
事業内容	著作権等管理事業/キャスティング事業/その他			
売上規模	4,345,481千円（2020年3月期）			
従業員数	73名（2020年9月末）			
総資産	4,630,496千円（2020年9月末）			
主な取引先	エイベックス・グループ、(株)ドワンゴ、(株)ソニー・ミュージックエンタテインメント、(株)ワーナーミュージック・ジャパン、iTunes(株)、Google(株)、(株)レーベルゲート、(株)レコチョク、他			

経営理念 権利者に選ばれ、
利用者から支持される
著作権管理事業者となる。



- ✓ 「著作権等管理事業」、「キャスティング事業」及び「その他」の事業セグメントで構成。
- ✓ 全社売上の9割弱を占める「著作権等管理事業」は管理業務と配信プラットフォーム向けコンテンツ供給が主体。
- ✓ 「キャスティング事業」「その他事業」でも音楽出版社、アーティスト等、音楽産業に携わる皆さまを幅広くサポート。



*DD：売上高＝取扱高

■ 著作権等管理事業

➢ 著作権管理

- ・ 著作権者から委託を受けた音楽著作物の利用許諾
- ・ 著作物使用料の徴収・分配業務など

➢ デジタルコンテンツディストリビューション(DD)

- ・ 国内外の音楽配信プラットフォームに向けた音楽・映像コンテンツの供給

■ キャスティング事業

➢ キャスティング・コンサルティング

- ・ アーティスト稼働やライブへのユーザー招待、楽曲タイアップに関わる音楽コンテンツの権利処理等を通じたコンテンツ利用促進コーディネート

➢ ODSサポート ※

- ・ ライブビューイング／映画配給・宣伝
- ・ 映画館を利用したイベントコーディネート等

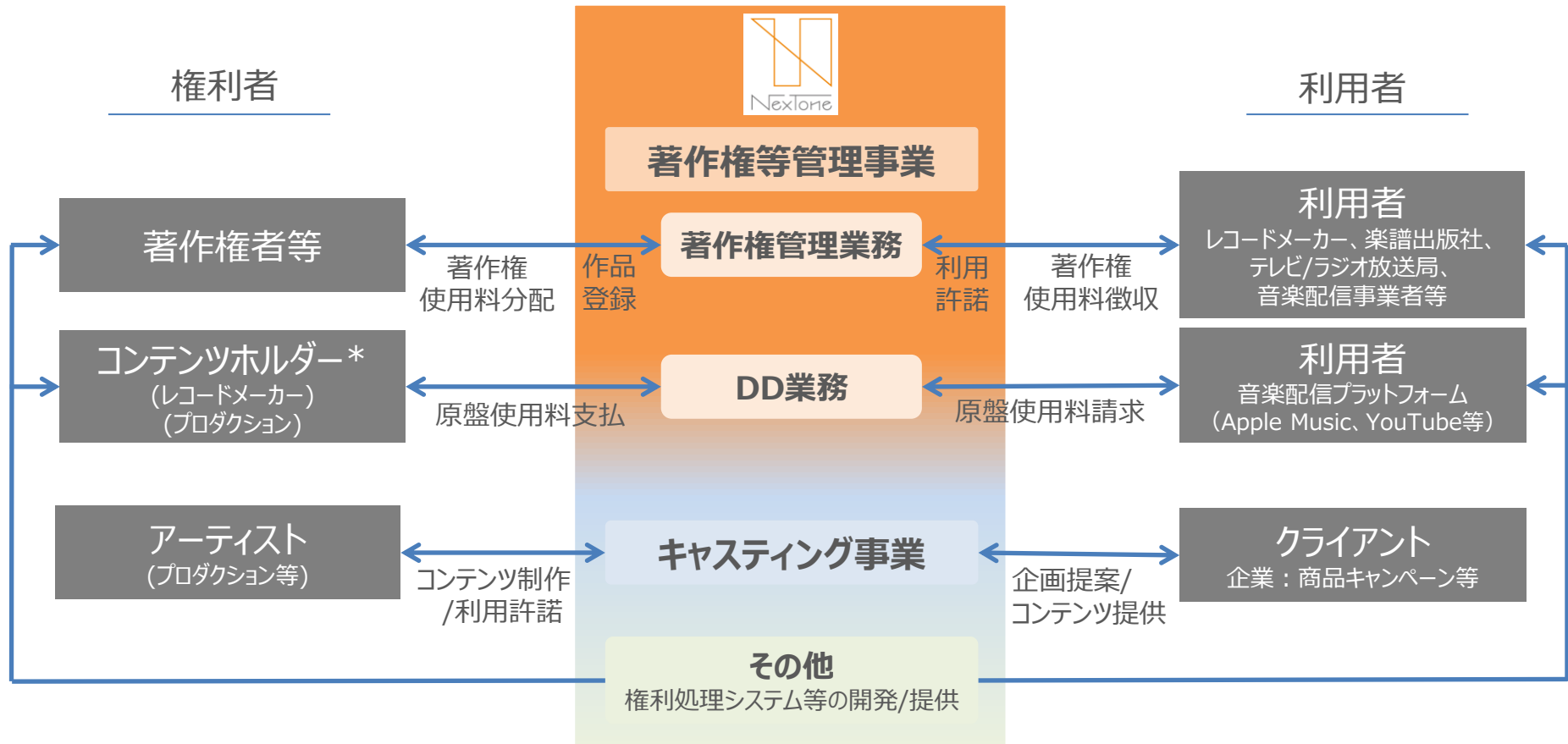
■ その他

- 著作権・原盤権等の権利処理システムの開発・提供、コンテンツ配信関連のシステム開発・提供、及び、各種社内システムの開発・運用など

※ ODS Other Digital Stuff (非映画デジタルコンテンツ)

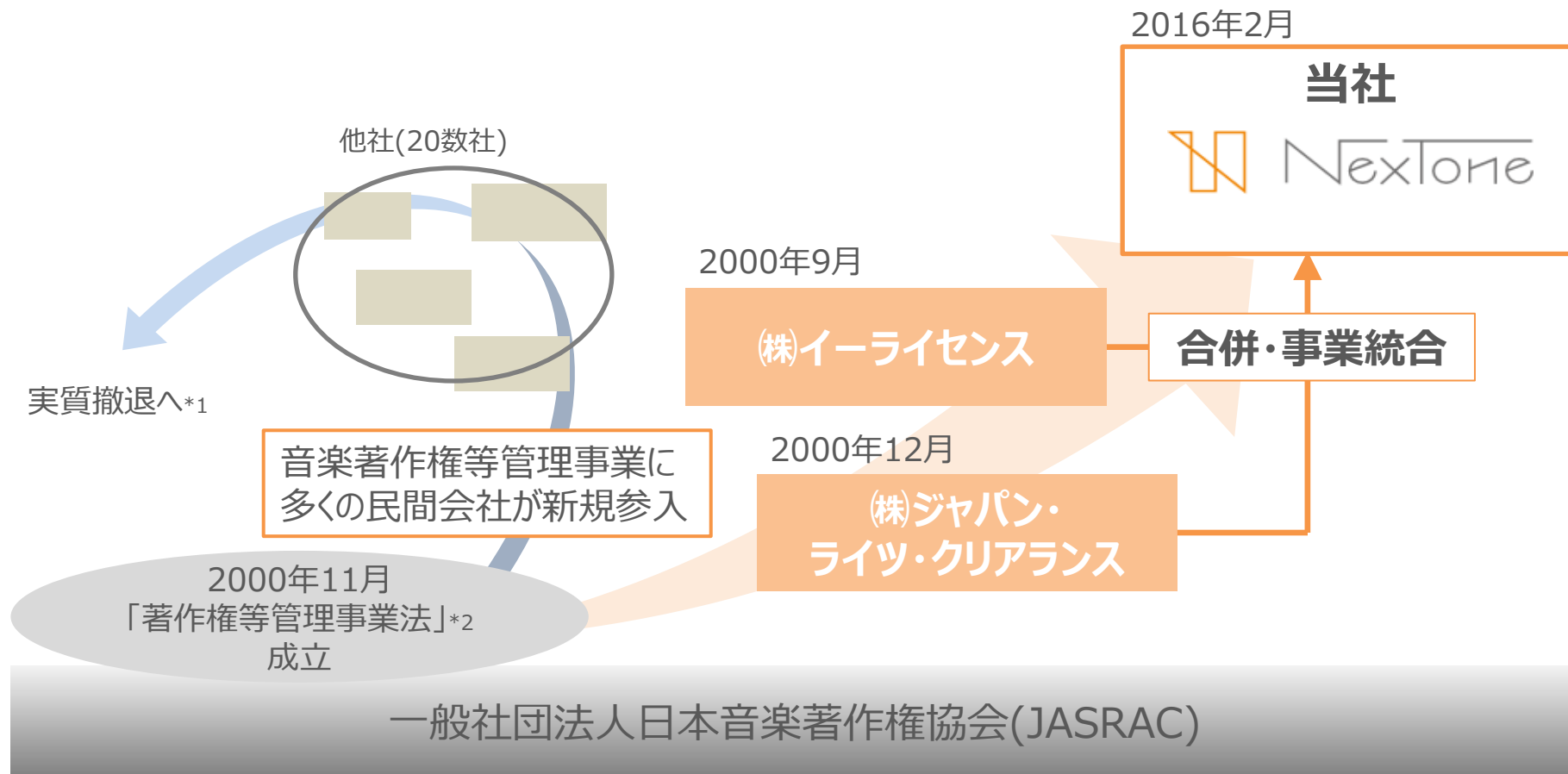
映画館で上映される映画以外(音楽コンサート、スポーツ、演劇、その他ステージイベント等)のデジタル映像作品

- ✓ 当社は著作権管理、配信音源供給、キャスティングに専念し、ユーザーと権利保有者との仲介エージェントとして機能。
- ✓ 基本的に利用者より使用料を徴収し、コンテンツホルダー他に分配。



*2019年3月現在で600社以上

- ✓ 「著作権等管理事業法」施行により、デジタル化の進展を想定した多数の民間企業が当事業に参入。
- ✓ 当社はその中の2社「(株)イーライセンス」・「(株)ジャパン・ライツ・クリアランス」が合併統合し発足。
- ✓ しかし、デジタル化ピッチは加速せず、各社実質撤退。現在は、老舗のJASRACと当社の2社が実質活動中。



*1：企業登録は残っているものの、楽曲管理はJASRACに既に移管している状態

*2：「著作権等管理事業法」成立前は、一般社団法人日本音楽著作権協会(JASRAC)が法律「著作権二関スル仲介業務二関スル法律」で唯一認可された管理事業者

- ✓ 2000年の法改正により、30社程度が新規参入を表明。
- ✓ しかし、当社以外の新規参入社は全て実質事業を縮小。現在は、JASRACと当社の実質2社体制。
- ✓ 日々の膨大な著作権利用に係るデータや情報のシステム管理と具体的料金徴収及び分配金支払業務はかなりの負担。新規参入障壁は高い。

著作権管理事業への参入障壁

① 著作権管理は手数料5.0～9.8%の低収益事業

② 日々の膨大かつ複雑な著作権利用に係るデータや情報のシステム管理能力が必要

③ 手数料徴収及び権利者への分配金支払の膨大な実務能力が必要

2000年の法改正で
28業者が登録するも、
現在は
実質上の撤退状態

当社は数少ない「生き残り」の民間企業
JASRACと当社の実質2社体制へ

特徴と強み ②分配金管理システムの高い透明性

- ✓ 作品名、利用者、使用数等の「分配明細」を定期的に権利者に開示するデジタル管理システムを構築。
- ✓ 利用状況が明確となるため、著作権使用料の確認だけでなく、マーケティングデータとしても活用可能。

デジタル管理
 (「分配明細」例)

<インタラクティブ配信>

作品コード	作品名	利用者	サービス名	種別	TV	使用数	単価	使用料(税別)	消費税率	備考
作品合計 1										
			iTunes(株)	Apple Music 月額制個人向け	SS	V	48		12%	
			iTunes(株)	Apple Music 月額制家族向け	SS	V	24		3%	
			iTunes(株)	iTunes Store	DL	V	3	7.80	22%	
			iTunes(株)	iTunes Store	DL	V	2	7.95	14%	
			iTunes(株)	iTunes Store	DL	V	1		9%	
			(株)レコチヨク	dヒッツ(500)	SS	V	12		2%	
			(株)レコチヨク	dミュージック(スマホ) [DLシングル(1000円)]	DL	V	1	8.13	8%	
			Wavora		DL	V	1	8.00	8%	
作品合計 311										
			ANA (株)	ANA 新Freeプラン	SS	V	195		9%	
			ANA(Standard)		SS	V	818		13%	
			Utatan		ST	T	479		1%	冠権
			Apple Music	Apple Music 月額制個人向け	SS	V	1,156		31%	

作品名、利用者、サービス名、使用数、使用料等

<YouTube配信>

NexTone作品コード	作品名	動画ID	動画タイトル	動画の期間内再生数	サービス情報	国コード
N0000****	*****	*****	*****	*****	2 YouTube Music	JP
N0000****	*****	*****	*****	*****	1 YouTube Music	JP
N0000****	*****	*****	*****	*****	500 YouTube	JP
N0000****	*****	*****	*****	*****	92 YouTube	JP
N0000****	*****	*****	*****	*****	4 YouTube Premium	JP
N0000****	*****	*****	*****	*****	2 YouTube Music	JP
N0000****	*****	*****	*****	*****	5 YouTube Premium	JP
N0000****	*****	*****	*****	*****	1 YouTube Music	JP

作品名、動画タイトル、再生数等

<放送>

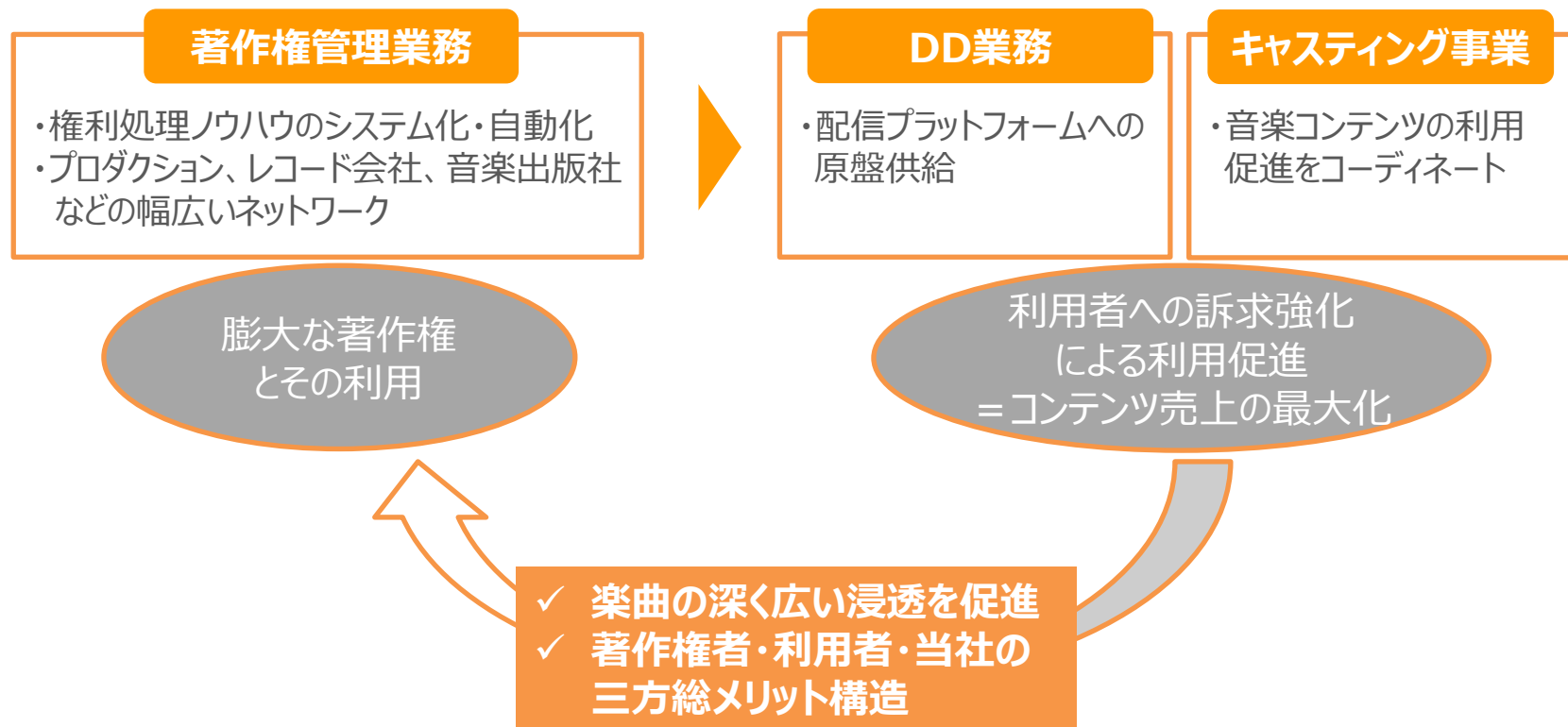
作品コード	作品名	種目	利用者	番組名	利用秒数	利用回数	放送年月日
N0000****	AAAAA	TT	長野朝日放送株式会社	*****	43	1	2019/2/20
N0000****	AAAAA	TT	株式会社静岡朝日テレビ	*****	43	1	2019/2/7
N0000****	AAAAA	TT	九州朝日放送株式会社	*****	43	1	2019/2/28
N0000****	BBBBB	TR	株式会社エフエム青森	*****	25	1	2019/3/3
N0000****	BBBBB	TR	株式会社エフエム仙台	*****	67	1	2019/3/2
N0000****	BBBBB	TR	株式会社エフエム山形	*****	131	1	2019/3/3
NOC							3/3
NOC							3/3
NOC							3/3
N0000****	CCCCC	TR	株式会社エフエム栃木	*****	15	1	2019/3/3
N0000****	CCCCC	TR	株式会社エフエムラジオ新潟	*****	30	1	2019/2/27

作品名、利用者、番組名、利用秒数、放送日等

透明な分配による権利者からの信頼獲得

さらなる作品登録の拡大を実現



- ✓ 楽曲の利用状況データは利用促進への重要なアセットとしても活用。
- ✓ データを活用した配信プラットフォームへの原盤供給（DD）やキャスティングにより、楽曲の浸透速度を加速。
- ✓ 著作権の管理のみならず、利用促進まで手がけ「権利者に選ばれ、利用者から支持される」経営理念実現へ。



音楽著作権について

- ✓ 音楽著作権は、4つの支分権（①～④）と7つの利用形態（⑤～⑪）により形成。
- ✓ 当社は現状、演奏権等（①）を除くすべての領域（②～⑪）を管理。

①演奏権等	②録音権等	③出版権等	④貸与権
<ul style="list-style-type: none"> ・ コンサートでの演奏 ・ カラオケ ・ 店舗内BGM ・ 映画館での上映、等 	<ul style="list-style-type: none"> ・ CDの複製、等 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 歌詞集の印刷 ・ 楽譜の印刷、等 	<ul style="list-style-type: none"> ・ CDレンタル
	⑤映画への録音		
	⑥ビデオグラム等への録音		
	⑦ゲームへの録音		
	⑧広告目的で行う複製 <ul style="list-style-type: none"> ・ テレビ/ラジオCMへの複製 ・ インターネットCMへの複製 ・ 広告印刷物への歌詞の複製、等 		
	⑨放送・有線放送 テレビ/ラジオでの放送、等		
	⑩インタラクティブ配信 スマートフォン/パソコンへの配信、等		
	⑪業務用通信カラオケ カラオケ施設での歌唱のための複製、公衆送信、等		

	当社	JASRAC
著作権使用料徴収額 (2019年度実績)	55億円	1,177億円
管理手法	主にデジタル管理	アナログ/デジタル管理の混在
徴収形態	使用実績に応じて徴収	一定基準での みなし徴収システムを併用
著作権等の管理範囲	「演奏権」以外	全領域
委託者（著作権者） との契約形態	委託契約 (委任/取次)	信託契約 ＜著作権はJASRACに移転＞
権利者の意思反映	 権利者裁量により 柔軟に料率変更が可能	 権利者の意思が 反映し難い

決算年月 (*単体決算)		2016年3月*	2017年3月*	2018年3月	2019年3月	2020年3月	2021年3月 2Q
売上高	千円	1,172,755	1,604,432	2,331,899	3,239,801	4,345,481	2,644,038
経常利益	千円	46,643	36,085	103,467	186,254	295,228	217,337
親会社株主帰属 当期純利益	千円	▲153,230	41,676	61,283	129,593	191,488	148,153
資本金	千円	603,012	659,262	819,762	819,762	1,113,012	1,113,012
発行済株式総数 (注)	株	10,630	11,380	13,520	13,520	3,079,000	3,079,000
純資産額	千円	638,939	793,115	1,209,269	1,343,632	2,120,821	2,268,975
総資産額	千円	1,280,316	1,598,135	2,645,587	3,135,846	4,246,891	4,630,496
1株当たり純資産額	円	60,107.16	69,693.82	89,349.46	98,954.34	688.80	736.92
1株当たり当期純利益	円	▲22,949.98	3,919.90	5,379.67	9,585.29	70.68	–
自己資本比率	%	49.9	49.6	45.7	42.7	49.9	49.0
自己資本利益率	%	–	5.8	6.0	10.2	11.1	–
営業キャッシュフロー	千円	–	–	295,301	530,255	927,175	348,187
投資キャッシュフロー	千円	–	–	▲157,140	▲86,912	▲231,816	▲112,038
財務キャッシュフロー	千円	–	–	321,000	▲15,000	586,500	–
現金及び現金同等物の期末残高	千円	–	–	1,602,647	2,031,254	3,313,113	3,549,261
従業員数	名	35	47	57	62	63	73

(注) 当社は、2020年1月15日付で普通株式1株につき普通株式200株の割合で、株式分割を行っております。

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社グループが現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

【お問い合わせ先】
株式会社NexTone 経営企画部
ir@nex-tone.co.jp